

# せせらぎ



令和2年11月2日発行 No.4

11月に入り、朝晩の冷え込みも厳しくなってきました。学校では、校内持久走大会に向け練習が始まり、20分休みに元気よく走っています。

今回は、桜1組の授業の様子をお伝えします。子供たちは、学校や家庭でのいろいろな場面における「冗談」や「強調」の使い方について一生懸命考えたり、実際に使う場面を想定して役割分担しながら発表したりすることができました。

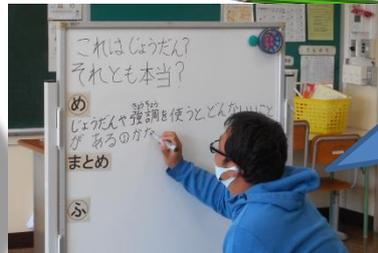
**校内研究授業 10/26(月)**  
**3・4年自立活動「これはじょうだん？それとも本当？」**  
**指導者**  
 ねらい「冗談」や「強調」を使った表現の良さに気づくことができる。

授業研究会では、「本当に言いたいことを考え、表現していた」という意見が出されていました。



つかむ

1. 「めあて」をもとめよう
2. 「見通し」をもとめよう



今日めあてを考えました。  
 めあて  
 「じょうだんや強調を使うと、どんないいことがあるのかな？」

追究する・深める

3. 自分で解いてみよう
4. ともだちと相談しよう
5. みんなで話し合おう

めいぐるみを使って役割演技をし、場面の様子を考えました。



場面ごとに自分だったらどうするか考え、ワークシートに書いた後発表しました。



まとめる

6. 「まとめ」をしよう
7. 問題を解いてみよう
8. 「ふりかえり」をしよう

児童と教師の2人組になり、実際に「冗談」や「強調」を使う場面を考え、発表し合いました。



児童は、本当に言いたいことや相手の気持ちを考える活動を通して、「冗談」や「強調」を使った良さに気づくことができました。



2人組の発表後感想を伝え合い学習のまとめをしました。